

東北地方 1か月予報

(6月3日から7月2日までの天候見通し)

平成18年6月2日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北南部では太平洋側を中心に日照時間の少ない状態が続いている。今後2週間程度も日照時間が少ない見込みです。農作物の管理などに注意してください。

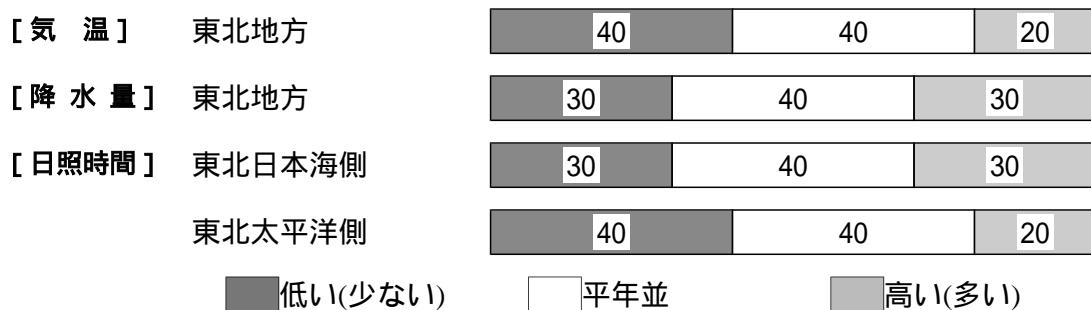
<予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変化しますが、前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすいでしょう。東北太平洋側では平年に比べて曇りや雨の日が多く、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

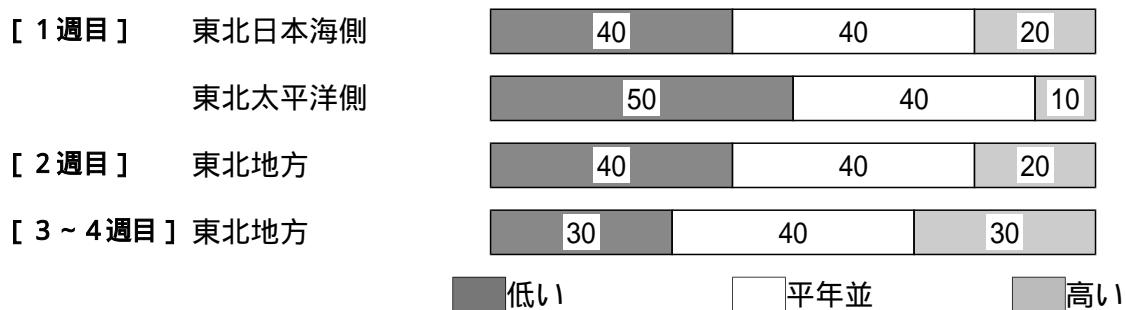
向こう1か月の平均気温は東北地方で平年並か低い、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は東北日本海側で平年並か低い、東北太平洋側で低い、2週目は東北地方で平年並か低い、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月 3日(土) ~ 7月 2日(日)
1週目 : 6月 3日(土) ~ 6月 9日(金)
2週目 : 6月 10日(土) ~ 6月 16日(金)
3~4週目 : 6月 17日(土) ~ 6月 30日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は6月9日
3か月予報:6月22日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	17.5	171.1	147.8	16.4	17.2	18.0
新庄	18.9	139.9	150.5	17.8	18.6	19.4
若松	20.0	122.8	154.8	19.0	19.8	20.5
深浦	17.4	110.9	178.5	16.1	16.9	18.1
青森	17.2	83.7	180.9	16.1	16.8	17.8
むつ	15.8	113.5	161.8	14.8	15.4	16.3
八戸	16.4	103.0	168.3	15.4	16.0	16.8
秋田	19.1	135.5	175.8	17.8	18.6	19.8
盛岡	18.4	118.3	149.0	17.3	18.1	18.9
宮古	16.2	119.2	140.5	15.3	15.9	16.7
酒田	19.5	136.9	173.1	18.4	19.2	20.1
山形	19.7	105.9	151.2	18.8	19.5	20.1
仙台	18.5	143.7	126.1	17.6	18.2	18.9
石巻	17.8	115.4	143.1	16.9	17.5	18.3
福島	20.1	122.3	128.1	19.4	19.9	20.4
白河	18.6	171.9	119.4	17.8	18.3	19.0
小名浜	18.5	152.0	135.1	17.5	18.1	19.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.4	82 ~ 112	94 ~ 106
東北日本海側	-0.5 ~ +0.2	76 ~ 107	95 ~ 106
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.5	84 ~ 107	90 ~ 109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.5	-0.4 ~ +0.2
東北日本海側	-0.6 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.3	-0.5 ~ +0.3
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成18年6月2日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(6月3日~7月2日):

天気は数日の周期で変化しますが、前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすいでしょう。東北太平洋側では平年に比べて曇りや雨の日が多く、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(6月3日~6月9日):

東北日本海側は高気圧に覆われて概ね晴ますが、期間の終わりは気圧の谷の影響で曇りや雨となるでしょう。東北太平洋側は、期間の前半は晴ますが、期間の後半は気圧の谷や湿った東風の影響で曇りの日が多く、雨の日もある見込みです。

平均気温は東北太平洋側で低く、東北日本海側は平年並か低いでしょう。

2週目(6月10日~6月16日):

前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすいでしょう。東北太平洋側では平年に比べて曇りや雨の日が多く、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3~4週目(6月17日~6月30日):

天気は数日の周期で変化し、時々前線やオホーツク海高気圧の影響を受けるでしょう。東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

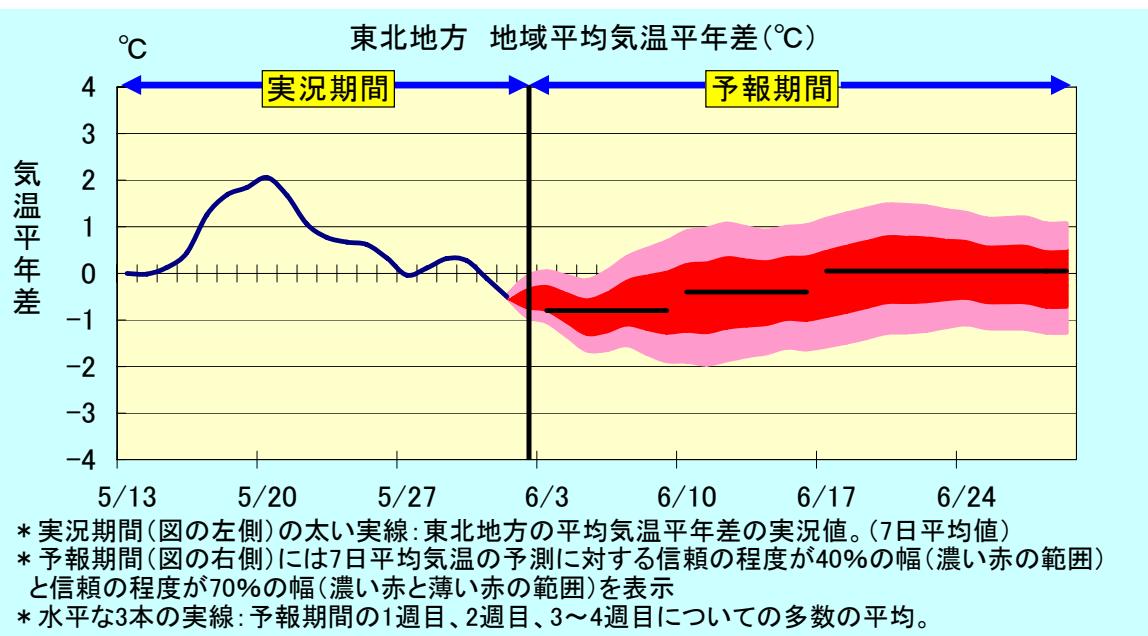
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.2日	3.9日	3.6日	5.7日
東北太平洋側	11.1日	3.5日	3.1日	4.5日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「低い」、2週目、3~4週目は、「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目の東北太平洋側を「低い」、東北日本海側を「平年並か低い」、2週目の東北地方を「平年並か低い」とする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

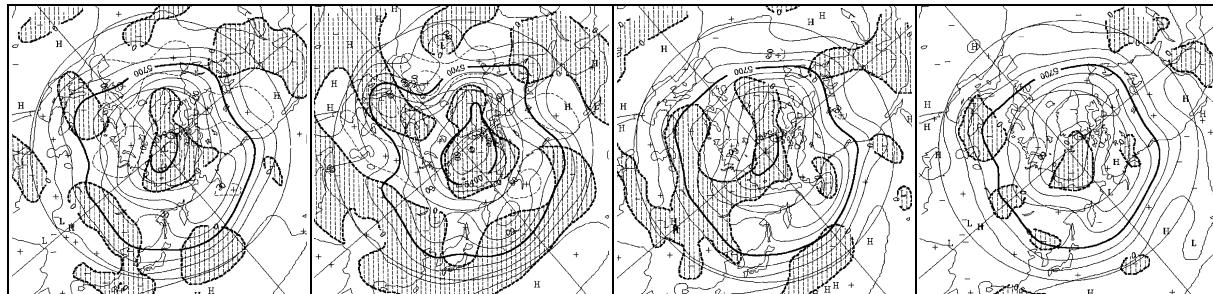


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、シベリアから北アメリカにかけて正偏差（暖気に対応）、北極付近と中国から東シナ海と日本の東海上は負偏差（寒気に対応）。東アジアの中緯度帯は負偏差だが、日本付近は偏差が小さい。極東の高緯度に分流が見られる。

1週目は、シベリアから北アメリカにかけてと東日本以北は正偏差、中国大陸から西日本を含む日本の南と東海上は広く負偏差。偏西風は分流傾向。2週目は東シベリアで正偏差。ユーラシア大陸の北緯40度帯で負偏差。偏西風は引き続き分流傾向。3~4週目は、日本付近は概ね正偏差だが、偏西風は引き続き分流傾向。



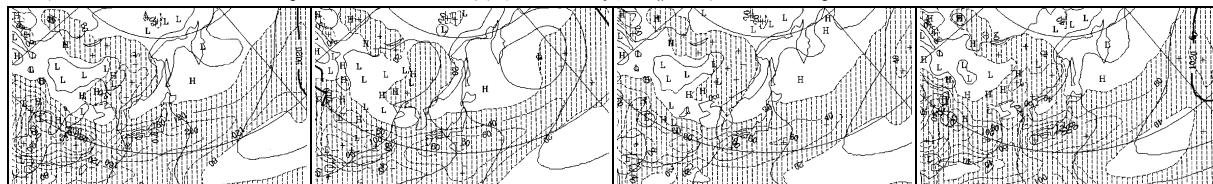
500 hPa 高度予想図（左から）1か月平均、1週目平均、2週目平均、3~4週目平均

実線：等高度線（間隔 60m）、点線：平年差（間隔は1か月 30m、週別 60m）、陰影部：負偏差域（一般に寒気に対応）

地上気圧と降水量：

月平均では、日本の南岸が相対的な低圧部で中国南部から日本の南岸に明瞭な降水域が帶状に広がる。オホーツク海付近に高圧部が表現されている。

1週目は、中国南部から日本の南岸に降水域がかかる。カムチャツカ半島付近の高圧部が明瞭。2週目は、千島付近が高圧部で日本の南岸は低圧部。降水域は中国南部と西日本以西を中心。オホーツク海に高気圧が見られる。3~4週目は、関東以西が相対的な低圧部で、まとまった降水域が東北地方までかかる。オホーツク海高気圧も引き続き見られる。



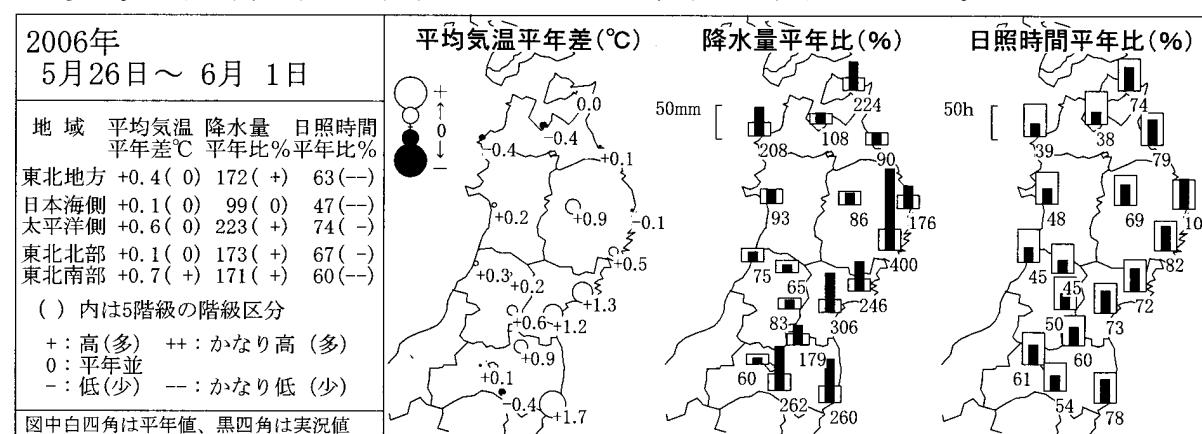
地上予想天気図（左から）1か月平均 1週目平均 2週目平均 3~4週目平均

実線：等圧線（間隔 4 hPa）、陰影部：降水域（1か月 80mm 以上、1週目・2週目 20mm 以上、3~4週目 40mm 以上）

4. 最近1週間（5月26日～6月1日）の天候の経過

この期間、低気圧や気圧の谷が次々と東北地方を通過したため曇りや雨の日が多かった。28日には南岸低気圧の影響で、東北太平洋側を中心にまとまった量の雨が降った。また寒気を伴った動きの遅い低気圧が日本海にあり、29日～30日にかけては東北日本海側を中心に天気がぐずついたが、その後移動性高気圧に覆われて天気は回復した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）